

〈実践2〉読み聞かせ

○ 昼休みの時間後に創意の時間を設定し、全職員が読み聞かせを行う「お話の広場」を設定した。



(二) 研究の視点2 読書活動との関連を図った授業の展開について

読書指導と関連した授業の質的改善を図るために、次のような実践を試みた。

- ① 関連を深めて行う学習活動の設定
各教科、道徳、特別活動等の

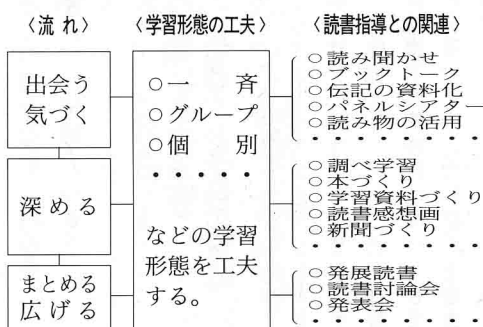
〈実践例〉

年間指導計画を見直し、精選と重点化を図り、読書指導に関する時間を確保し、関連を図って学習内容のさらなる定着を目指した。

- ② 単元（題材）全体を見通した指導計画の改善

単元（題材）全体の指導計画を見直し、「出会う・気づく」「深

◆単元全体の構想



(三) 研究の視点3 読書環境の整備・充実を図ることについて

児童の「読書」への関わりを一層深めさせるには、環境を整備する必要がある。

- ① 学校図書館の整備充実
② 図書館利用の促進（コンピュータ管理など）
③ 家庭への啓発及び町図書館との連携

(四) 検証の場としての「読書集会」の実践について

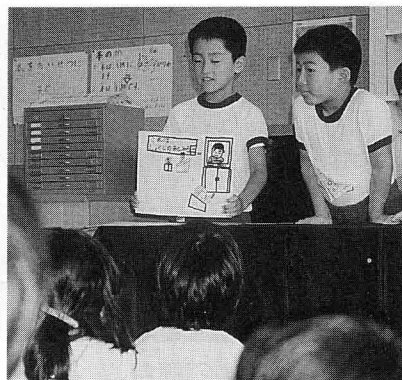
児童一人一人が、自ら獲得した知識や技能を活用し、生かす場面として「読書集会」を設定した。この活動は、確かな学力を検証する場であり、また総合的な学習の時間を視野に入れた試みでもあった。

〈実践内容〉

- 読書から得た知識・情報の発表
○ 課題別学習の発表

◇ 下年生——ペープサート、

紙芝居、読み物の朗読による紹介など
◇ 上学年——読み物の紹介、調べ学習の発表など



五 研究の成果（要約）

- 「読書の楽しさ、大切さ」を意識するようになった。
○ 課題や疑問に対して、自ら調べようとする態度が見られるようになった。
○ 学習センターとしての図書館で主体的な学習が進められるようになった。
○ 読書集会の発表が児童相互の理解、さらなる学習への意欲につながった。